

神奈川県保健医療計画 進捗状況評価調書

<項目>

第4章 地域包括ケアシステムの推進

第4節 母子保健対策

とりまとめ担当課：健康増進課

1 課題に対するこれまでの取組実績

(1) 長期療養が必要な児等への支援
<ul style="list-style-type: none"> → 療育相談（児の成長発達への支援、日常生活上必要な相談指導）（H30:延べ10回 51名） → 巡回相談指導事業（家庭等において療育上の課題等について相談指導） （H30:延べ66回 66名） → 小児慢性特定疾患児ピアカウンセリング事業（養育者の交流会・勉強会等を開催） （H30:延べ43回 1,019名）
(2) 生涯を通じた女性の健康づくりの支援
<ul style="list-style-type: none"> → 個別相談（保健師による電話・面接相談を実施）（H30:実数597名、延数856名） → 専門相談（相談日を設け医師等による面接相談を実施） （H30:20回、実数45名、延数49名） → 健康教育（講演会を開催）（H30:97回、9,860名）
(3) 妊娠・出産に関する支援
<ul style="list-style-type: none"> → 個別相談（保健師による電話・面接相談を実施）（H30:実数11名、延数60名） → 専門相談（妊娠SOSかながわ：専門相談員による電話相談を実施） （H30:実数126名、延数129名） → 健康教育（講演会を開催）（H30:97回、9,860名） → 妊娠・出産に関する知識の普及（Webサイトの運営）（アクセス数 H30：5,928,137）
(4) 不妊・不育症に悩む人への支援
<ul style="list-style-type: none"> → 個別相談（保健師による電話・面接相談を実施）（H30:実数324名、延数479名） → 専門相談（相談日を設け医師等による電話・面接相談を実施） （H30:27回、実数104名、延数113名） → 不妊に悩む人への特定治療支援事業の実施（H30:2,708件、487,172千円）
(5) 妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援
<ul style="list-style-type: none"> → 専門職への研修（H30:2回、延数83名） → 連絡調整会議（情報共有、関係機関との連携）（H30:25回）
(6) 新生児に対する障がいの発症予防等のための検査
<ul style="list-style-type: none"> → 生後5～7日目の新生児を対象として、フェニールケトン尿症、メープルシロップ尿症、ホモシスチン尿症、先天性甲状腺機能低下症（クレチン症）等を早期に発見、治療することにより障害の発症を未然に防止するため、タンデムマス法、ELISA法等による血液検査を実施した。 （H30:検査数21,268件 県域における発見患児数24名）

(7) 妊娠期からの歯科保健対策	
	→ 歯周病を予防し、進行抑制するためのセルフケアの方法・生活習慣に関わる知識及び検診受診の普及を推進した。(H30:妊産婦指導者数61名)

2 参考指標の推移

指標名	単位	神奈川県内					参考指標を設定した理由	備考
		H30	R 1	R 2	R 3	R 4		

3 課題ごとの進捗状況の評価

(1) 長期療養が必要な児への支援

評価	A ・ (B) ・ C ・ D
評価分析	・ 個別相談や当事者の交流会を開催し、家族の状況に合った支援を行うことで、長期療養が必要な児の成長・発達を促すことができた。
評価理由	・ 長期療養が必要な児の個別相談、交流会等の開催を随時実施しており、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。

(2) 生涯を通じた女性の健康づくりの支援

評価	A ・ (B) ・ C ・ D
評価分析	・ 思春期から更年期の女性を対象とした相談や講演会を開催し、各自の状況に合った心身の健康の保持・増進が図られた。
評価理由	・ 様々な年齢の女性を対象とした個別相談、講演会を随時開催しており、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。

(3) 妊娠・出産に関する支援

評価	A ・ (B) ・ C ・ D
評価分析	・ 望まない妊娠等の悩みを抱える方が相談することで、正しい情報、継続してサポートが受けられる適切な相談窓口やサービスを提供することができた。
評価理由	・ 望まない妊娠等の専門相談窓口により相談対応しており、課題解決に向けて比較的順調に進捗している。

(4) 不妊・不育症に悩む人への支援

評価	A ・ (B) ・ C ・ D
評価分析	・ 子どもを望んでいる不妊・不育に悩む男女を対象に治療等に関する相談を行い、各自の状況に応じた自己決定を支援することができた。また、特定不妊治療を行う方々の経済的負担を軽減するため、助成を行った。

評価理由	・ 不妊・不育症に悩む男女を対象とした相談に適宜対応し、課題解決に向けて順調に進捗している。
------	--

(5) 妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	・ 市町村が妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援を実施する体制を整備するために、人材育成のための研修、課題を共有、検討するための会議、必要な情報提供を行い、市町村への支援を行った。
評価理由	・ 市町村が実施する切れ目ない支援体制の構築を支援し、地域の課題等を共有し解決に向けて順調に進捗している。

(6) 新生児に対する障がいの発生予防等のための検査

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	・ 発症前であれば治療や障害の予防が可能であるが、発症後は重篤な障害や生命の危険がある先天的な疾患の検査を行うものであり、ほぼ 100%の対象新生児を対象に検査を実施し、早期発見、治療等につなげた。
評価理由	・ タンデムマス法をにより、対象 20 疾患を検査し、発見した患児を的確に治療するための体制を整備することにより（精査中核病院と地域協力病院）、早期発見、治療等につなげるなど、課題解決に向けて順調に進捗している。

(7) 妊娠期からの歯科保健対策

評価	A ・ B ・ C ・ D
評価分析	・ 妊娠中の口腔内の特徴に合わせた情報提供だけでなく、妊娠期からの子どものむし歯予防の大切さや親子のふれあいの大切さについて普及啓発している。
評価理由	・ 妊婦が自分自身の歯及び口腔の健康づくりに関心を持つきっかけとなり、出産後においても切れ目ない歯科保健のサポートにつながっていると考えられることから、順調に進捗している。

4 総合評価

評価	評価理由
B	晩婚化や出産の高齢化等を背景として課題となっている、不妊・不育症に悩む方への支援や新生児への先天性代謝異常等検査など、現状の課題を踏まえ比較的順調に進捗している。